

部会記録

1 会議名

令和2年度第1回頸城区地域協議会 自主的審議事項検討部会
【総務・地域振興部会】

2 議題（公開・非公開の別）

(1)協議（公開）

3 開催日時

令和2年12月21日（月）午後6時35分から午後7時30分まで

4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：笠原委員（座長）、上村副会長、小川委員、西巻委員、船木委員、
山本委員

・事務局：頸城区総合事務所田村次長、総務・地域振興グループ武内班長

8 発言の内容（要旨）

【西巻委員】

頸城区の課題は交通弱者、買い物難民、医療難民、少子高齢化の問題。大
養地区・南川地区・明治地区共通で出てくる。前期の協議会でも勉強会をし
たが、なかなか難しい。

【笠原委員】

南川地区でも高齢化が問題。共通の課題。買い物難民や交通弱者の問題は
大なり小なりある。

【船木委員】

有田小学校は子どもが多い。南川地区とは子どもの数が違う。

【山本委員】

部会記録

今、三ツ橋新田の土地が売れている。

【西巻委員】

人口減少しているのに、市の世帯数が多くなっている。これは核家族化が進んでいるから。大瀧小学校は人の変動があまりない。明治地区と南川地区が減っている。地域間格差。同居すれば交通弱者などの減少にもなる。

【船木委員】

安塚、浦川原から昔は頸城に出てきていた。何十年もすれば頸城から旧市内に出ていくようになる。

大島区は活気がある。灯の回廊など老若男女が一緒になりイベントを行っている。土地の魅力があるから若い人たちは地元から出ないのだろう。地元愛を育てる何かをしないとだめなのでは。

【上村委員】

牧、大島は減るだけ減った。石神で通学の交通手段がないため出ていった方たちがいる。同居を増やすにはどうしたらいいか。買い物難民の話は、住民の意見なのか。(聞いたのは)団体の長だったので、違うのではないか。明治と南川地区とでは違う。

柿崎ではバス路線が減ってもタクシーを呼べば許認可の対象にならないとか。

【山本委員】

バス路線も考えていかなければならない。

【西巻委員】

吉川から毎日のようにタクシーに乗る人がいる。ボランティアになればいいが事故があると責任問題もある。

【笠原委員】

(くびき野NPOサポートセンターか)NPO法人を作ったり、ボランティアにも手当をあげたりきちんとやっているところもある。

【西巻委員】

部会記録

ボランティアでも定年延長で70歳近くなる。

【笠原委員】

自分の子どもも10年すればどうなるか。山の人は必死だけれど、町の人
は中途半端。

【西巻委員】

(三和区の区のバスの話)

【田村次長】

福祉有償運送とささえあいの2つを登録している。まちづくり振興会が
やっている。

福祉有償運送は三和から外へ出るか、外から三和へ行くか。ささえあいは
三和区内。電話で登録をする。

運転手の人件費は補助金や会費の中でやっている。振興会の職員が運転手
を兼ねて行っている。登録している運転手もいるかもしれない。1回実費し
かもらえない。ガソリン代相当。

【上村委員】

頸城区でもできるか。

【田村次長】

頸城はやるとしたら大変。バスが全部の町内を走っているから。三和は広
いので全部のところへバスが回ることはない。タクシーがなかなか来てく
れないので許可が出た。

市内で福祉有償運送を行っているのは三和と安塚、それと合併前上越が
ある。

廃止路線のデマンドタクシーは中郷。来年は清里も。清里は中郷の乗合タ
クシーと違って車を購入し、市営のバスを補助金をもらって振興会でやる
と思う。

【笠原委員】

バス路線を変えて、無駄なところは回さない。公共交通の関係もあるので

部会記録

難しい。

【田村次長】

スクールバスと路線バスを切り分ければ、路線バスは赤字路線で全部廃止できる。そうするとデマンドタクシーができる。頸城が交通空白地になれば、観光で来た人は予約しなければ乗れなくなる弊害もある。

【武内班長】

頸城のバス路線は廃止にならず現状維持になっているのは学生が使っている。

【田村次長】

自主的審議で高齢者から意見を聞く機会を持ったり、状況を聞いたり審議していくのもあり。やめたらどういうメリット、デメリットがあるか。互助、共助できているのか。実際、区の中でバスを互助でやるとするなら、誰が主になってやるのかも考えなくてはならない。

【上村委員】

市民税を払っている。行政は市民サービスをどこまで入り込むのか。全て入り込んで初めて行政は市民サービスだと言える。

【笠原委員】

各町内の老人会など、それぞれの立場でアンケートに参加してもらおうか。

【武内班長】

アンケートには、将来必要だけれど、今は必要ないと書かれていた。これから必要になるだろうという不安。

頸城はバスは現状維持なので恵まれている。

【田村次長】

三和の運送形態を視察に行き、勉強することもできる。

【笠原委員】

住民がどれだけ本気度を持って取り組むか。

部会記録

【田村次長】

三和の有償運送のやり方と、大島・牧の買い物の形態はそれぞれの事務所を通じて情報をもろう。

(終了 午後7時30分)

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-530-2311 (内線 212)

E-mail : kubiki-ku@city.ioetsu.lg.jp